

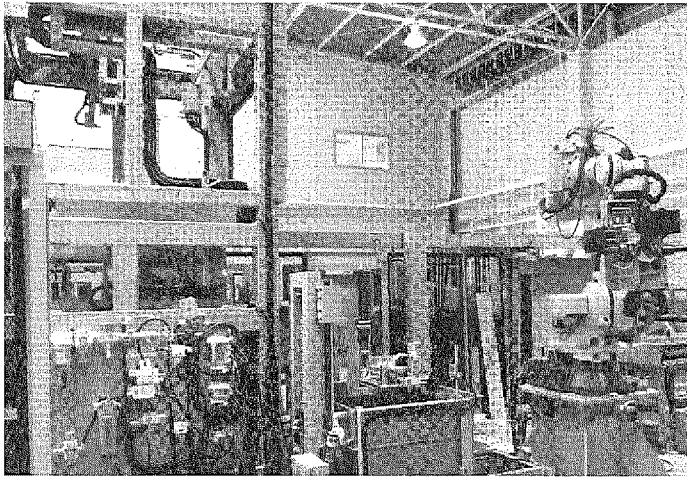
アフターサービス

三明機工、メキシコ強化

ダイカスト部品の自動化設備

兼松K G Kに業務委託

【静岡】三明機工（静岡市清水区、久保田和雄社長、054・366・0088）は、メキシコでアルミニウムダイカスト部品製造向け自動化設備のアフターサービスを強化する。兼松K G K（東京都練馬区、千葉靖雄社長、03・3557・2261）に、保守などの業務を委託し、月内にサービスを開始する。現地での受注拡大を見込み、顧客対応の迅速化で受注機会の獲得につなげる狙いだ。



三明機工はロボットやFA（工場自動化）システム、ダイカスト関連自動化システムの提案を強みとしている。メキシコではシャトコ、リヨービ、日産自動車などの現地工場向けに約20ラインの納入実績がある。メキシコには自前の拠点がなく、これまで国内から社員が出向いてアフターサービス

アルミニウムダイカスト部品製造向け自動化設備

スに当たっていた。ただ今後は、受注の増加に伴い、迅速な顧客対応が必要になると判断した。メキシコに拠点があり、産業機械のエンジニアリング機能を持つ兼松K G Kに納入先のアフターサービスを委託することにした。

主な業務として電機の制御、ロボットティーチング、メカのオーバーホールやメンテナンスなどを行う。

三明機工はメキシコのほか、中国、タイなど海外での自動化設備の受注が増えている。タイに現地法人を持つほか、16年には中国に現地法人の設立を予定するなど海外展開を加速している。